迎夏郊窟

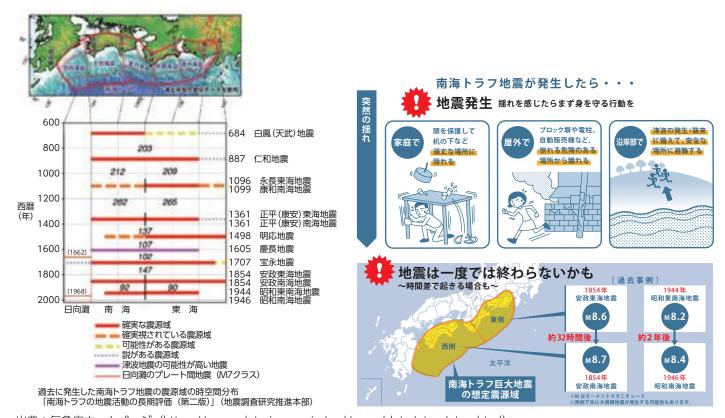


南海トラフ巨大地震に備える

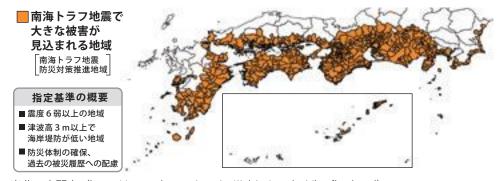
駿河湾から遠州灘、熊野灘、紀伊半島の南側の海域及び土佐湾を経て日向灘沖までのフィリピン海プレート及びユーラシアプレートが接する海底の溝状の地形を形成する地域を「南海トラフ」といいます。

この南海トラフ沿いのプレート境界では、①海側のプレート(フィリピン海プレート)が陸側のプレート(ユーラシアプレート)の下に1年あたり数cmの速度で沈み込んでいます。②その際、プレートの境界が強く固着して、陸側のプレートが地下に引きずり込まれ、ひずみが蓄積されます。③陸側のプレートが引きずり込みに耐えられなくなり、限界に達して跳ね上がることで発生する地震が「南海トラフ地震」です。①→②→③の状態が繰り返されるため、南海トラフ地震は繰り返し発生します。

南海トラフ地震の過去事例を見てみると、その発生過程に多様性があることがわかります。宝永地震(1707年)のように駿河湾から四国沖の広い領域で同時に地震が発生したり、マグニチュード8クラスの大規模地震が隣接する領域で時間差をおいて発生したりしています。さらに、隣接する領域で地震が続発した事例では、安政東海地震(1854年)の際には、その32時間後に安政南海地震(1854年)が発生し、昭和東南海地震(1944年)の際には、2年後に昭和南海地震(1946年)が発生するなど、その時間差にも幅があることが知られています。



出典:気象庁ホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/nteq.html)



出典:内閣府(http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/leaflet.html)

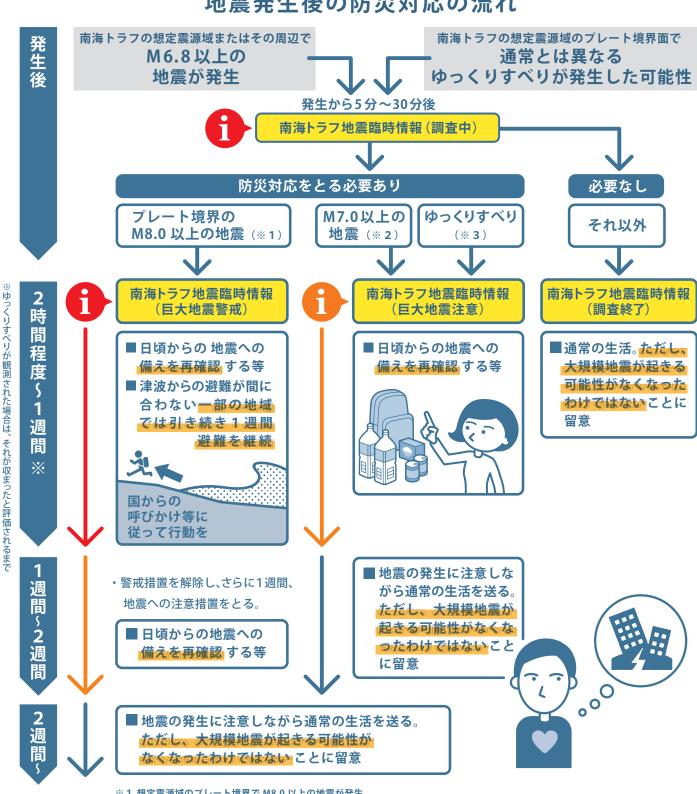
出典:気象庁ホームページ(http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html)



時間差で発生する巨大地震に備えましょう ~南海トラフ地震臨時情報~

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に 気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

地震発生後の防災対応の流れ



- ※1 想定震源域のプレート境界で M8.0 以上の地震が発生
- ※2 想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生(ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く)
- ※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

出典:内閣府(http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/leaflet.html)

出典: 気象庁ホームページ (http://www.jma.go.jp/jma/kishou/books/nteq/index.html)

地震の揺れと想定される被害

震度0~3は省略しています。

震度4



- ●歩行者も揺れを感じ、眠っている人は目を覚ます。
- ●照明などのつり下げ物が大きく揺れる。
- ●座りの悪い置物が倒れる。

震度5強



- ●物につかまらないと歩けない。
- ●棚にある食器類や本が落ちる。
- ●固定していない家具が倒れる。

震度6強



- ●立っていることができない。
- ●耐震性の低い木造建物が傾き、倒れる。
- ●大きな地割れやがけ崩れが多発することがある。

震度5弱



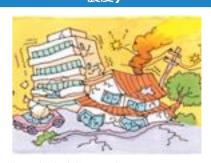
- ●恐怖を覚え、物につかまりたくなる。
- ●棚にある食器類や本が落ちる。
- ●固定していない家具が移動する。
- ●小さな地割れや液状化が生じることがある。

震度6弱



- ●立っていることが困難。
- ●家具の大半が倒れる。
- ●壁のタイルや窓ガラスが破損する。
- ●がけ崩れや地すべりが発生することがある。

震度



- ●耐震性の高い木造建物でも傾く。
- ●耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物が倒れる。
- ●山が崩れ、天然ダムができることがある。

広告





地震時に取るべき行動

いつ、どのような状況で地震が発生するかわかりません。そんな時、**落ち着いて状況を判断し、いかに的確な行動をとれるかが、生死を左右します**。

■地震発生時の行動

●地震からの身の守り方 【基本】

まわりにある物で頭を しっかり守る

自宅の場合、丈夫な机 の下に入るなど、危険な 物から離れましょう。



ダンゴムシのポーズで身を守りましょう。

●地震からの身守り方 【出かけ先】

《オフィスでは》

窓や機器から離れる

窓が割れてガラスが飛散することもあるので、物が『落ちてこない・倒れてこない・移動してこない』場所へ、素早く逃げます。



《スーパー・コンビニでは》

陳列棚から離れ、踊り場や柱の近くへ

棚が倒れたりするので、開けた場所や柱の近くへ移動 します。身動きが取れない場合は、買い物カゴやカバン などをかぶりその場でしゃがみ、身の安全を確保します。

●地震からの身守り方 【自宅】

《料理をしていたら》

キッチンは危険地帯、 素早く安全な場所へ

冷蔵庫が倒れてきたり するおそれもあるので、 無理に火を止めに行かず キッチンから離れ、まず は身を守りましょう。



発生直後の行動

何が起きているのか情 報を得る

身のまわりの安全が確認できたら、テレビ、ラジオ、防災行政無線、行政のウェブサイトなどで情報を確認しましょう。



まずは、自分の目と耳で危険を確認

家族や友人と一緒にいれば、揺れが収まり次第、お互いの状況を確認しましょう。その後、建物の倒壊や火災・ 土砂崩れなどの危険がないか、避難経路をしっかり確保できているか、確認しましょう。

■避難行動

●非常持出品を持つ

ラジオや携帯電話、備蓄食 料等最低限の物をリュックな どに入れて持ち出す。



11

●安全を確保しながら避難

事前にハザードマップにより避難場所や危険区域を確認し、安全な経路を選択し、一時避難所等の安全な場所に避難、長期の避難生活が見込まれる場合は指定避難所に避難する。

●隣近所で助け合う

隣近所で声をかけ合いながら、高齢者等の避難誘導、 地区ごとに安否確認を行いながら避難する。



広告





わが家の安全対策

突然襲ってくる地震。日頃の備えが大切です。家の中や周囲の確認をしておきましょう。

■感震ブレーカー

設定値以上の震度の地震発生時に自 動的に電気の供給を遮断するもの。

■出入口

出入口までの通路に、家具などの倒 れやすいものを置かない。

■テレビ等の転倒・落下防止

高い所には置かないようにし、しっ かり固定するか、免震シートを貼る。

■窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る。

■ストーブ

自動消火機能付きのものにし、カー テンなど燃えやすいものは周囲に置 かない。



倒れやすいものや燃えやすいものを 周囲に置かない。

■本棚・食器棚

背の高い家具は、L字金具などで壁 に固定する。家具の下に小さな板な どを差し込み、壁や柱に寄りかかる ように固定するのも有効。

■寝室

背の高い家具などは置かない。

■懐中電灯を設置

所定の位置に懐中電灯を設置してお

■ベランダ

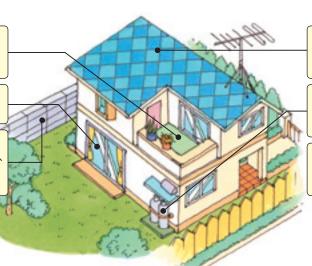
鉢植えなど、落ちる危険性があるも のは置かない。

■窓ガラス

飛散防止フィルムを貼る。

■塀・門柱

ぐらつきやひび割れがないか確認し、 鉄筋が入っていない場合は補強して おく。



不安定なテレビアンテナは補強し、 瓦などの落下防止対策を行う。

■プロパンガス

ボンベを鎖などでしっかり固定して おく。

■商店の場合

看板のぐらつきがないか定期的に確 認し、落下防止対策を行う。

広告

外壁・屋根塗装 防應塗装 防水屋上・ベランダ防水工事 鋼橋塗装 シーリング防水

お気軽にお問い合わせください

ぐ0265-48-0265

長野県飯田市大門町 3862-6 回発回 ∞ com@yokoi-tosou. com http://yokoi-tosou.com





極めた信頼の証

一般针团法人 日本塗装工業会 会員

-級塗装技能士(建築・鋼橋) 登録建設塗装基幹技能者在編

住宅、建設業に伴う塗製防水工事、 及び、これらに付寄する一切の業務



株式会社 本等

長野県知事許可(般-20 第24719号